

令和 6 年度白樺学園高等学校との包括連携協定事業 (1 学年) 総括 (案)

1 事業目的

議員との交流により、議会の仕組みを理解するとともに、まちづくりに参加する機会とし、地域社会の一員としての自覚を持たせ、議場体験を通じ、近い将来の主権者としての意識を高めることを目的とする。

2 事業内容 議会体験<シナリオを基にした議場体験 (2 班構成) >

3. 実施場所 本会議場 (芽室町庁舎 3 階)

4 事業実績

(1) 2 月 3 日 (月) 午前 A 組 (22 名)、S 組 (8 名)

担当議員：小笠原、堀切、渡辺、早苗、中村

(2) 2 月 6 日 (木) 午後 D 組 (29 名)、E 組 (28 名)

担当議員：菊地、木村、渡辺、常通、鈴木

(3) 2 月 18 日 (火) 午前 B 組 (23 名)、C 組 (30 名)

担当議員：伊藤、中田、堀切、渡辺、立川

5 総括

(1) 成果 目的は概ね達成

シナリオ (一般質問・条例改正提案) による議会体験の後、議会についての説明、質疑応答等の交流を通して「議会活動の認知度向上」、「まちづくりに関心を持ち参加する機会」につながったと考える。

(2) 課題 実施時期、議場体験の内容等、次年度向けには検討が必要。

6. その他

<生徒の事後アンケートからの疑問や質問>

- ・どのように町民の意見を反映しているのか気になりました。
- ・会議がない日はどのように過ごしているのか知りたい。
- ・質問時間が 90 分で足りているのか気になった。
- ・どんな質問をしていたら 90 分もかかるのか気になった。
- ・実際に議会の時にはどんな雰囲気で行っているのか気になった。
- ・いつもどんな風に議会が行われているのか気になった。

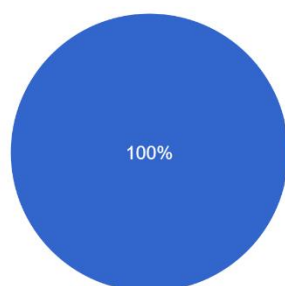
- ・通常はどのくらいの時間話し合うのか、1日で終わらない場合は何日くらいかかるのか気になった。
 - ・途中で寝てしまわないのか気になった。
 - ・他にどんな議題があるのか気になった。
 - ・議員には誰でもなることはできますか。
 - ・どうして地域によって議員の報酬が違うのか気になった。
 - ・高校のロッカーが小さいので大きくしてほしい。
 - ・クーラーつけてほしい。
- ※ できる限りで回答し、学校へ送付することとする。

令和6年度 白樺高校（1学年）包括連携協定事業 アンケート結果
（議員：回答13名）

令和7年3月1日集計

設問1 当日の運営について（方法、内容、進行、役割分担など）

11件の回答

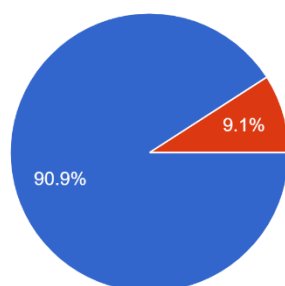


- ① 概ねよかった
- ② 改善が必要

①概ねよかった 13

設問2-1 事業評価について（目的の達成度）

11件の回答



- ① 概ね達成した
- ② 取り組んだが、不足している部分等が見受けられ、改善の余地がある
- ③ 達成していない

① 12

② 1

設問2-2 上記で②と③と回答した方は具体的に記載願います

- ・時間的余裕がない中で出来ていると思う
- ・二元代表制について現在の模擬体験からでは理解されづらい。シナリオに工夫が必要。

設問3 全体を通してお気づきの点等、何かありましたらご自由に記載願います

（10件の回答）

- ・次年度もシナリオ内容（支援金拠出について）については学校と協議をして可否の結果によって注釈がいらぬ内容にしたいと思いました。支給回数が討論の争点にならないよう議会からも助言などできたらよいのですが。
- ・後半の進め方は、高校生からの発言が出るような工夫が必要かと思いました。
- ・役場3階の利用案内はこれからの町政との関わりを進めていく一助になるかもしれない。

- ・生徒達にとっては初めての体験を経験してもらうことの意義は大きいと考えます。こちら側はやっつけ仕事にならないよう印象に残るような対応が出来たら良いと思います。
- ・今回1回の出役予定がありましたが、それも延期になり、結局出てません。なので、振り返りは出来ませんが、主権者教育の観点から継続すべきだと思います
- ・シナリオに関しては、毎年アップデートした方が良いのかなと感じました。より学生に関心を持って取り組んでいただけるようにシナリオ作成の段階から議員が関わるのも良いのかなと思います。
- ・今後参政権取得を睨み如何に若い意見・人望を探し出すか課題が見えてきた感じがする。
- ・「学校の話し合いの場でも、しっかりと自分の意見を持ち、伝える努力をすることが大切だと学びました。」という議会体験を終えての生徒の感想がありました。この事こそが、大切な出発点だと思います。学校にも大切な「自治」がある事を学んでくれた事に感謝です。
- ・最低4人で何とかかなと思った。今後の成り手を考えればこれ以上の事業拡大はしなくても良い。
- ・実施内容についてはあらためて検討してもいいかもしれない。アイスブレイクも含めて模擬議会のシナリオをやる前に、議会について説明する時間があってもよいかもしれない。説明する内容についてはある程度統一されていた方が説明する側もやりやすいかもしれない。1年生の事業実施後の感想を見ているとこの事業の意義は非常に大きく、こちらが思っている以上に認知度向上につながっていると感じる。ただ単に人数揃えて受け入れるだけではなく、議会認知度向上という目的を達成するためにどうしたらよいのか、今一度議論が必要と感じる。